

令和5年度奈良県農業研究開発センター成果発表会 開催要領

趣 旨

農業研究開発センターにおける第2期中期運営方針5年間の研究成果や取り組みについて、県民、生産者および関連産業に対して積極的に情報発信し、開発された技術の迅速な普及を図ることを目的として成果発表会を開催する。

日 時

令和6年2月15日（木） 13:00～16:30

場 所

農業研究開発センター 交流・サロン棟 研修室A
(桜井市池之内130-1)

内 容

- ・開会および挨拶

13:00～ 國本所長

- ・成果の紹介（プレゼンテーション20分、質疑応答5分）

13:05～ 抽苔しにくいヤマトトウキの選抜

果樹・薬草研究センター 兵頭主任研究員

13:30～ 台湾・アメリカへの輸出に対応した茶生産技術の確立

大和茶研究センター 梨原主任研究員

13:55～ ホウレンソウの機能性成分ルテインの含量について

大和野菜研究センター 浅尾主任研究員

14:20～ 休憩

14:35～ 多様な用途に対応したイチゴ新3品種の育成

育種科 今西主任主事

15:00～ 促成イチゴ栽培における新天敵（アブラバチ）を加えた総合的防除体系の確立

環境科 藤森主任主事

15:25～ 需要期安定出荷と市場シェア確保を目指した小ギク新品種の育成

育種科 虎太総括研究員

- ・ポスターの掲示

12:00～16:30（交流・サロン棟2Fにて）

※15:50～16:30は、担当研究員が立ち会います。

※当センターホームページ上での掲載：令和6年1月29日（月）～2月29日（木）

- ・ポスターのテーマ

吸湿剤を使って施設内の温湿度を調整する装置の開発（育種科）

奈良オンリーワン酒米品種の育成（育種科）

渋柿を原料とするシロップ漬けの開発（加工科）

遺伝子診断（PCR）によるトマト、キクの重要病害の殺菌剤に対する耐性菌の検出
（環境科）

ワイン用ブドウ品種の県内栽培適性調査（果樹・薬草研究センター）

カキのジョイント栽培用大苗生産方法の検討（果樹・薬草研究センター）

ヒロハセネガ種子の採種の効率化と休眠打破条件の解明（大和野菜研究センター）